

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

自動車及びセニアカー販売を通じ、エコカーや安全装置装着車の普及促進により、環境に配慮した事故の少ないクルマ社会作りに貢献するとともに、より環境に優しく、社員にも優しい、働きやすい職場を作り、社員が誇れる会社として持続していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	給与明細の電子化によりペーパーレス化を実現。お客様からサインをいただく書類等を順次電子サインに切り替え、環境保護に寄与する。	・自動車任意保険のペーパーレス化 2023年70% →2026年80% ・クレジット申込書類の完全ペーパーレス化 2023年0% →2026年100%
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	本社に太陽光発電パネルを設置、CO2削減を図る。24時間稼働の急速充電器も併せて設置することで、EV車のインフラを担う役割を果たす。今後各拠点に展開予定。	・太陽光発電パネルの設置数 2023年1拠点 →2026年4拠点 ・急速充電器の設置数 2023年1拠点 →2026年4拠点
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	女性がいいきと活躍できる企業を目指し、産休・育休を充実。男性の育休も取得促進。社員全員がハラスメント・LGBT研修を受講し、働き方や多様性について理解を深める。	・社員女性比率 2023年23% →2026年40%

<パートナーシップ>

自動車販売会社として、自動車及びセニアカーの販売・整備を通じて、全ての人が安全・安心に暮らせるクルマ社会作りに貢献するとともに、従業員全員が働きやすく・働き甲斐がある職場としての成長を図る。またスズキグループとして、全国の販売会社間での取組み好事例を共有・横展開し、グループ全体で連携して取り組んでいる。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	DX推進により、人々のより良い生活への対応を図る。オンライン商談増での接触時間短縮、整備伝票等の音声入力にAIスピーカー導入。	2020年オンライン商談0件、AIスピーカー0本 →2023年商談月20件、15本導入。	2023年商談月0件、AIスピーカー2本導入。自動車販売において、オンライン商談は必要書類の煩雑さ等があり難しく、AIスピーカーも周囲の雑音等に反応するトラブル等もあり、思うように進まず目標は未達だった。
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	高齢者の免許返納及び超高齢化社会に向け、役場でのセニアカー貸出事業の推進。	役場でのセニアカー貸出事業台数 2020年15台→ 2023年100台	2020年から倍増の30台迄は推進出来たが、目標を高く設定し過ぎた為、目標は未達だった。
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	性別・年齢・障がい・国籍・雇用形態を問わない採用の強化。(2020年社員総数311名、内障がい者4名・外国籍0名)	2020年左記→ 2023年社員総数320名、内障がい者6名・外国籍2名	2023年社員総数332名、内障がい者3名・外国籍0名。自動車業界全体の人手不足の影響もあり採用自体が苦戦し、障がい者採用が1名減。またコロナ期間であった事もあり、外国籍採用出来ず、目標は未達だった。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。